



こころの健康講演会 「悩んでいる人に気づいて」



3月7日、市教育センターでこころの健康講演会が行われました。各務原病院医師の天野雄平さんが「自殺とうつ病・アルコール問題との関係について」をテーマに、診療場面で出会う自殺未遂者やうつ病の人の実際の傾向なども踏まえて、話しました。どれだけ周りの人が関わっていてもすべての自殺を防ぐことは難しいですが、理解してくれる人がいることで、自殺を防げるケースもあります。講演を聴いた参加者は、「悩んでいる人に声をかけることは難しいが、よく話を聞いたり、相談機関につなげたい」と感想を話しました。

データ活用講座 「データでみる山県市」

3月13日、桜尾小学校4年生を対象に「データ活用講座」データで見る山県市・山県市」の授業が行われました。授業では、県統計課職員が統計データを踏まえ、県や市の特徴や自慢を、クイズを織り交ぜながら、分かりやすく解説しました。県が給排水用バルブ出荷額や柿の購入量、購入金額が全国一であることを紹介され、児童たちは興味深げに聞き入っていました。

授業を受けた児童は「さまざまなことで全国一があると知り、東京にも負けなくらい山県にも魅力があることが分かった」と誇らしげに話していました。



やまがたジョギング大会で 約1,350人が快走!



3月18日、四国山香りの森公園周辺で、第13回やまがたジョギング大会を行い、市内外から約1,350人が参加しました。

今年は、新たに10kmコースや50歳以上の部を設け、自分にあつた部門に分かれて、ジョギングやウォーキングを楽しみました。天候にも恵まれ、参加者は心地よい汗をかきました。

また、岐阜経済大学 駅伝部監督の揖斐祐治さんと部員を招いての陸上教室やお楽しみ抽選会、豚汁の振る舞いなどが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

伊自良大実の魅力を発信! 「柿ZANMAI」オープン

3月25日、伊自良地域発祥である伊自良大実柿をPRするため、平井地区内に「柿ZANMAI」(かきざんまい)がオープンしました。

市の空き家改修事業の補助を活用して、改修した2階建ての民家で、柿渋で染められた雑貨の販売や、柿渋染めの体験などができます。

また、伊自良大実柿を使ったまちおこしに取り組んでいる伊自良大実連合会の事務所も兼ね、今後、伊自良大実の魅力を全国に広めるPRの拠点として活動していきます。

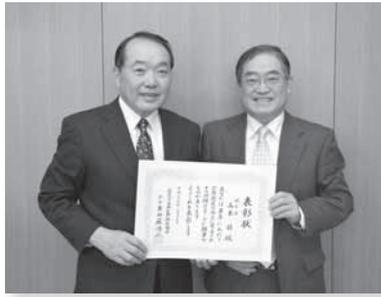


市内郵便局・岐阜北郵便局と 防災協定を締結しました



3月13日、岐阜北郵便局、市内郵便局と2つの協定を締結しました。協定の1つは「災害発生時における山県市と山県市内郵便局及び岐阜北郵便局の協力に関する協定」で、災害発生時、避難所で生活する市民への郵便配達や、郵便料金の免除など郵便局から包括的な支援を受けるものです。また、「地域における協力に関する協定」では、交通事情などを熟知している郵便局員が、道路の異常、高齢者、子どもなど市民の異変などに気付いた場合、市に情報提供をする内容となっています。

山本悟さんが 公衆衛生事業功労者表彰を受賞



岐北厚生病院名誉院長の山本悟さんが、3月8日、平成28年度公衆衛生事業功労者一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰の受賞報告のため、市長を表彰訪問しました。長年にわたり公衆衛生事業のために献身的な活動を続けたことが認められ、このたびの受賞となりました。山本さんは、「乳がん検診の啓発普及などに努めてこられたのは、市の支援も大きい。これからも地域医療のために尽くしていきたい」と話し、市長は「市民の健康寿命の延伸に向けて、引き続き協力をお願いしたい」と応じました。

梅原小が県図書館教育最優秀賞・ 学校安全優良校を受賞



平成28年度岐阜地区学校図書館教育優秀表彰式で最優秀賞を受賞した、梅原小学校の原校長（3月現在）が、3月3日、報告のために教育長を訪れました。同校では、校長が中心となって児童の夢を聞き取り、関連した図書を一人ひとりに紹介する「夢読書」などに取り組んでいます。また、同校は、学校運営協議会と連携した地域行事「ゆう・友・ふれあいフェスタ」において、防災をテーマにした活動などが認められ、3月1日、平成28年度岐阜県学校安全優良校に選ばれました。

林野火災消火者に感謝状



3月28日に発生した林野火災で、矢川今男さんが迅速かつ適切な消火活動を行い、火災の拡大を防ぎました。矢川さんの初期消火は、地域の防火意識の高揚に多大な功績があり、地域住民の模範となることから、その行動を讃え、南消防署長から感謝状が贈られました。矢川さんは「火事を発見した時、風も強く燃え広がりが速かったので大変焦ったが、消火栓を使った消火の効果は大きかった。地域の消火栓の位置を把握しておくことが大切であると強く感じた。」と話していました。

地域で若者の結婚支援を 結婚に係る調査研究報告



「山県市結婚に係る調査研究事業」の調査報告が、3月22日に市長室でありました。この調査は、市民の結婚に関する現状や考えなどを調査、分析し、人口増加に向けた今後の結婚支援の施策に生かすために、市が岐阜女子大学に委託して行ったものです。報告では、岐阜女子大学教授の三輪聖子さんが市長に報告書を手渡し、市長は「報告の内容を市の施策に生かしたい」と応じました。

市レクリエーション協会が 軽スポーツの用具を寄贈



3月16日、市レクリエーション協会が富岡小学校に「パックイン25」の用具を寄贈しました。「パックイン25」は、牛乳パックで25個の仕切りを作り、そこにボールを入れ得点を競うもので、同協会が新たに考案した軽スポーツです。さっそく、体験会も行われ、参加した児童は楽しそうにゲームに参加していました。なお、同協会では、市内小中学校の全特別支援学級に用具を寄贈しました。